

自由のともしび

JIYU NO TOMOSHIBI

- 各界からのメッセージ
- 自由民権記念館25周年記念双六
- 第15回 社会科自由研究作品展報告
- 資料紹介『発陽雑誌』『高知自由新誌』『愛国譚』

VOL. 78

2015 March

自由は土佐の山間より
 編集 自由民権記念館 25周年



当館は1990(平成2)年4月1日に、高知市制100周年の記念施設として開館し、本年4月1日に25周年を迎えることとなりました。この間、多くの人びとに支えられ、貴重な資料を収蔵するとともに、数々の研究成果をあげてきました。この25周年を記念して、各界の方々からメッセージをいただきました。

自由民権記念館25周年 各界からのメッセージ

開館25周年おめでとうございます

友の会も同じ年月を過ごして来たことになり。歴代の友の会会長や事務局長、幹事の皆さんが、本当にエネルギーを取り組みを企画し行動に移して、市民の皆さんに記念館の存在を周知していったことを今更ながらに思い起こします。

友の会は、会則三条にある「高知市立自由民権記念館の事業に関する研究等を行い、館の機能を発揮できるように協力する」という設立の目的に添って、市民・県民に向けて記念館設置の目的実現を応援すべく、市民の立場で今後とも取り組んでいきます。高知市立自由民権記念館友の会会長 岡林登志郎

ともに新しい展開を

民権百年の熱気の中から生まれた自由民権記念館は、近代資料の宝庫です。開館から二五年の足跡は、土佐自由民権運動をはじめ政治、社会、学術、文化、ジャーナリズムなど、高知県の近現代史を多角的に提示することで人々を励ますものでした。

今後も、歴大な資料をもとに、研究、展示分野でさらに新しい展開が図られることを期待します。

高知近代史研究会会長 公文 豪

連携の拠点として

開館25周年、おめでとうございます。こうしたミュージアムネットワークは博物館施設だけでなく、広く資料に関係する機関が参加したユニークな組織です。その中でも、自由民権記念館には中心的な役割を果たしていただいております。これからも、関係者の連携はもちろん、資料保存や地域博物館のあり方などについて、自由民権記念館の活動に大いに期待しています。

ミュージアムネットワーク会長

宅間 一之

【2面に続く】

市民とともに問い、考える

開館25周年、おめでとうございませう。民主主義とは何か、ナショナリズムとは何か、が問われる昨今の社会情勢です。ともに「自由民権」を冠する公立博物館として、日本の近代化において自由民権運動にはどのような意味があったのかを市民とともに問い、考えていきましよう。

町田市立自由民権資料館学芸員 松崎 稔

ともに続けたい調査研究活動

一三二年前「東の福島」で土佐から六人の応援を得て、諸激化事件の嚆矢である喜多方事件を共に闘いました。現在、交流の中で学び合いは今日的課題に結びついた運動となっております。

開館25周年にあたる今年こそ、現地土佐の雰囲気に入り、私どもの熱源にできたらばと思っております。

福島県喜多方歴史研究協議会会長

赤城 弘

祝25周年メッセージ

四季の夜空に一つだけ不動の星が見えます。それはポラリスです。私達は山林や海浜で夜道に迷った時この星を規準に方角を決めます。貴館はポラリスのように輝き、進むべき方向を教示してくれる巨星です。

今後、各地の「民権」を顕彰する記念館、資料館、研究者、市民グループ等が一堂に会する、定期的な連絡会の企画を懇望いたします。

房総自由民権資料館館長 佐久間耕治

民権研究の宝庫

自由民権記念館開館25周年おめでとうございませう。

振り返ってみると、記念館開館の背景には一九八〇年代の三回にわたる自由民権百年全国集会の盛り上がりがありました。今、記念館は自由民権研究の貴重な史料と研究書を所蔵し、民権研究の宝庫となっております。今後のますますの発展を期待しています。

秩父事件研究顕彰協議会会長 篠田 健一

発信拠点を期待

建設予定地を見学していたので、正直、もう二五年も経ったのかというのが実感。三春・町田に続いて、最後は本家の番と私はみていましたが、予想通りの規模と中身となり感動しました。この四半世紀は、紆余曲折もありましたが、総領としての実力発揮です。今後は、自由民権の普遍的意義を日本と世界に向けて、発信する拠点となることを期待します。

専修大学教授 新井 勝紘

確かな航路を示す灯台

開館25周年、おめでとうございませう。心よりお祝い申し上げます。高知は自由民権発祥の地。その炎を今にと、館の建設に心血を注がれた方々、開館以後館のお仕事に、また支えるため尽力してこられた皆様に深く敬意を表します。貴館は国民に確かな航路を示す灯台です。歴史の修正顕著な現在、貴館の放つ明かりに希望を託します。

早稲田大学名誉教授 安在 邦夫

開館25周年に際し、貴館に敬意を表します

高知は、植木枝盛・馬場辰猪・中江兆民をはじめ、民権家としてのみならず、日本近代史にさん然と輝く偉大な思想家を輩出したところ。貴館が、彼らにめざした目標を地域に根づかせ、さらには広く日本・世界に向けて、四半世紀にわたり発信し続けてこられたことに對して、敬意を表します。

東京外国語大学名誉教授 稲田 雅洋

日本の近代史全体を視野に

自由民権運動の研究と、その成果の普及において記念館が果たしてきた大きな役割に対し、深い敬意を表します。今、われわれが立つ基盤をしっかりと認識する必要性が高まっています。今後は、自由民権運動のみではなく、高知そして日本の近代史全体に視野を広げながら、多様な活動を展開していただきたいと思っております。

高知大学准教授 小幡 尚

全国の研究者に多大な貢献

開館25周年おめでとうございませう。開館以来、高知県自由民権運動のみならず、広く高知県の立憲政治に関わる史料の収集・展示さらに研究に寄与され、高知市民の皆さんだけでなく全国の研究者に多大な貢献をされました。かつて開催された谷干城展に関わらせていただいた時以来、研究上大きな恩恵を受けた者として心からお慶び申し上げます。

青山学院大学教授 小林 和幸

「自由民権」の発信地として

三大「自由民権」資料館の一つ、高知市立自由民権記念館が25周年を迎えられたことは、大きな喜びです。日本にも自由・民主主義の伝統がちゃんとあること、そうした政治文化は今でも私たちが社会・国家に向き合う時に様々なアイディアや元気を与えてくれることを、これからも自信をもって発信していただくさいー日本に、そして世界に！

関西学院大学教授 高島 千代

かけがえのない存在として

私が初めて自由民権記念館を訪れたのは一九九九年の夏でした。その後、何度となく訪れた自由民権記念館は学生でも大学の先生でも等しく「自由で平等に」史料調査ができる記念館だと思えます。今後とも、自由民権記念館が自由民権運動を学び、研究する人々にとってかけがえのない存在として永続することをお祈りします。

中京大学准教授 中元 崇智

明日からの自由民権記念館に期待する

兆民先生の「民権これ至理なり、自由平等これ大義なり」の言葉（『一年有半』）が、今、時代を痛諷する。自由民権の源郷である高知からの発信と発信とが輝きを増す由縁である。館が四半世紀を閲したことを祝し、覇道へと向いつつある日本の針路を革める大切な役割の領導を、明日からの自由民権記念館に期待したい。

大正大学教授 福井 淳

研究者としての原点

高校生の時、開館直後の貴館に何気なく訪れました。自由と大書された旗。民権歌謡。視覚に聴覚に訴えかける展示に圧倒され、私の生まれ育った土地にこんな歴史があるのかと驚きました。私の研究者としての原点はここにあり。私、先行き不透明な今だからこそ、「一人一人が学び、協力して智慧を出し合えば、可能性のある社会づくりが出来る」というメッセージを発信する貴館の益々の発展を祈ってやみません。

宮内庁書陵部主任研究官 真辺 美佐

自由は土佐から全国へ

「自由は土佐の山間より」をテーマに、高知市立自由民権記念館が開館し、二五周年を迎えた。この間、自由民権研究やそれを取りまく環境は変化する。しかし、貴館は一貫して日本の民主主義を伝えてきた。今後も貴館が自由民権研究の中心的施設として、土佐から全国へ、「自由」を発信する拠点となることを願ってやまない。祝、25周年。

新潟県立長岡向陵高校 横山 真一

今のような時代にこそ必要

高知市立自由民権記念館が25周年を迎えられたとの由、まことにめでたうございませぬ。人権条項を盛り込んだ現行日本国憲法の思想水脈となる「自由」「民権」を普及せしめた自由民権運動の理念と精神は今のようない時代にこそ必要だといえませぬ。今後多くの方が貴館を訪れ、近代日本の歴史的転換点を再認識されることを願ってやみませぬ。

大阪人権博物館(旧パティ)おあさか

学芸員 吉村 智博

25周年イベント(春・夏)

◆記念式典 2015(平成27)年4月4日(土) 10:00~12:00 民権ホール

- 式典
- 講演 松岡 信一館長「憲政の祖国・土佐 -自由民権運動から学ぶ-

※25周年にあたり、土佐の自由民権運動の豊かな足跡から、今あらためて学ぶべきことを考えます。

参加自由

◆記念展示

1「自由民権と憲法

—『東洋大日本国々憲案』から『日本国憲法』へ—

会期 2014年度から継続開催中、5月31日(日)まで。

会場 2階特別展示室

●観覧料(常設展・企画展共通)

個人320円・団体(20人以上)250円/1人

高校生以下、長寿手帳所持者、療育手帳及び身体障害者手帳所持者とその介護者1人は無料



2「自由民権記念館25年の歩みと蔵出し資料展」

会期 4月4日(土)~5月6日(水)

会場 自由ギャラリー

無料

※展示会ポスターや、刊行物、制作映像などで25年を振り返るとともに、日ごろは公開していない資料を展示します。

3「ハワイに高知城をたてた男 -奥村多喜衛展」

無料

会期 5月9日(土)~6月28日(日)

会場 自由ギャラリー

主催 「ハワイに高知城をたてた男 -奥村多喜衛展」実行委員会
高知市立自由民権記念館

5月9日(土)9:30~ オープニングセレモニー

ゲスト: 村田 晃嗣氏 (同志社大学学長) ほか



書斎の奥村(60歳代か)

●奥村 多喜衛

山内家家臣の家に生まれ、片岡健吉の影響下で自由民権運動に関わった後、キリスト教の伝道者としてハワイに渡り、ハワイ日系社会のために生涯を捧げた奥村多喜衛の生誕150周年記念展です。戦前、奥村はマキキ聖城教会を建設します。日米関係が次第に緊迫する時代、その教会は高知城を模したデザインでした。

展示では、多くの資料とともに、このマキキ聖城教会を1/33の模型に再現するなど、サムライ牧師と呼ばれた奥村の志と戦いを描きます。

◆記念講演会 / 高知近代史研究会第80回研究会

5月23日(土) 14:00~17:00 民権ホール **参加自由**

第1部 講演 井上 章一氏 (国際日本文化研究センター教授)

演題「楽園ハワイの天守閣 -建築としてみるマキキ聖城基督教会」

第2部 対談 井上 章一氏・黒田 朔氏 (清和女子中・高等学校校長、元マキキ聖城基督教会牧師)

4 高知近代史研究会第81回研究会 **参加自由**

7月18日(土) 15:00~17:00 研修室

公文 豪氏 (高知近代史研究会会長)

「自由民権記念館建設の思い出」

5「路面電車が走る街・高知 写真パネル展」

無料

会期 8月22日(土)~10月4日(日)

会場 自由ギャラリー

主催 ㈱土佐電ビルサービス

高知市立自由民権記念館

共催 とさでん交通(株)

高知の電車とまちを愛する会

※とさでん交通(株)などが所蔵する、街と路面電車の郷愁溢れる写真を展示します。



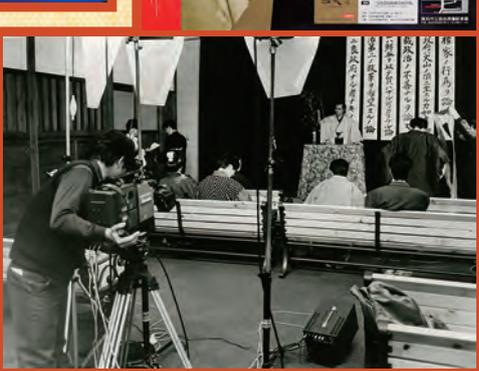
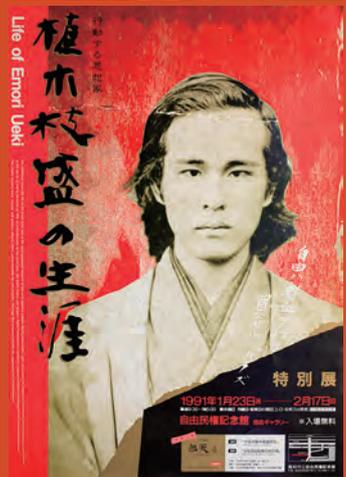
土電会館と電車・バス

25周年記念双六



日本独自のゲームである絵双六には様々なテーマがあり、その中には社会の出来事を取り上げたものもあります。
自由民権期には「民権双六」「自由党歴史双六」「国会寿語録」などが登場しています。ここでは、高知市立自由民権記念館25年の歩みを双六仕立てで紹介しましたので、お楽しみください。

振出し



- 13 開館10周年記念事業「明治の昼食会」(2000)
- 14 展示「東洋のルソー 中江兆民の生涯」ポスター(2001)
- 15 展示「明治の面影 フランス人画家 ビゴーの世界」ポスター(2003)
- 16 地域展「鏡川源流の里ー鏡・土佐山の自然と文化財」(2006)
記念行事「大利の太刀踊り」
地域展は他に「ふるさと再発見 三里」(2002)
「ふるさと再発見 秦 ～北山の里～」(2004)を開催
- 17 「社会科自由研究作品展」2001年から開催
- 18 展示「次世代につなぐ自由民権 民権百年から120年への軌跡展」ポスター(2005)
- 19 「民権百年から120年への軌跡展」
シンポジウム「今 自由民権を考える」左から松岡惇一、福井淳、新井勝紘、安在邦夫の各氏

- 20 高知近代史研究会、2002年発足
吉田文茂氏「透徹した人道主義者 岡崎精郎」(2008)
川田稔氏、筒井秀一(当館学芸員)「濱口雄幸を語る」(2009)
- 21 展示「～三大事件建白運動120年記念～土佐自由民権運動群像展」ポスター(2007)
- 22 群像劇「新聞の葬式 ～おまんらあ なめたらいかんぜよ～」(2007)
- 23 展示「幸徳秋水展 ーその生涯と思想ー」(2010)
- 24 植木枝盛書斎移築(2011)
- 25 CDブック「土佐の自由民権歌集 世や武士」発行(2011)
- 26 毎年開催する「夏休み子ども歴史教室」
- 27 展示「自由民権と憲法」看板(2014)



13	14	15	16	17	18	1
12	26		27		19	2
11	25	24	23	22	21	3
10	9	8	7	6	5	4

- ① 開館ポスター (1990)
- ② 横山市長と、100年後に向けタイムカプセルを埋設 (1990)
- ③ 展示「行動する思想家 植木枝盛の生涯」ポスター (1991)
- ④ 「行動する思想家 植木枝盛」撮影準備 (1991)
- ⑤ 「選挙大干渉百年全国集会」シンポジウム (1992)
左から松尾章一、後藤靖、森山誠一、公文豪、尾形善次郎、大日方純夫の各氏
- ⑥ 「選挙大干渉百年全国集会 市民の夕べ」講演する永井秀夫氏 (1992)
- ⑦ 「高知県民史両党の激戦」撮影 (1992)
- ⑧ 展示「自由の足跡 福島・神奈川と土佐」ポスター (1993)
- ⑨ 展示「板垣退助展」ポスター (1994)
- ⑩ 友の会主催「民権たご祭り」1997年より開催
- ⑪ 展示「明治の女性展」ポスター (1996)
- ⑫ 展示「立志社—その活動と憲法草案—」ポスター (1998)

第15回

社会科自由研究作品展報告

●前期 平成27年 1月17日(土)～2月1日(日)
●後期 2月3日(火)～2月19日(木)



高知市立 自由民権記念館
マスコットキャラクター
「じゅっぴー」

平成27年1月17日から2月19日まで会期を前期・後期に分けて、第15回社会科自由研究作品展を高知市教育研究会社会科部会との共催で開催しました。

この作品展は、当館開館10周年を記念して始まり、今年で15回目となります。今回「歴史」「環境」「地理・文化」など全8分野に数々の力作が出品されました。

応募点数は、小学校34校、中学校2校から、合計262点でした。

当館と社会科部会の先生方による厳正な審査も行われ、応募作品の中から40点を特別賞に選定しました。1月18日(日)には表彰式を開催し、受賞者やご家族の方約140名にご参加いただきました。

受賞作品のうち、各分野での最優秀作品を下表で紹介いたします。

なお、期間中は約823名の方にご覧いただきました。ありがとうございました。



表彰式後の記念撮影



展示風景



「スピカ」による歌と演奏

自由民権記念館特別賞

分野	作品名
環境	ゴミは、まだつかえる！ 第六小学校2年 藤塚 正浩 藤塚 まさひろ
産業・交通	バスでつなぐ高知県 泉野小学校6年 土居 智輝 どい ともき
人物	黒田官兵衛 初月小学校6年 下元 颯真 しももと そうま
地域・福祉	人を思う ユニバーサルデザイン はりまや橋小学校6年 成田 和南 なりた かな
歴史	高知城VS松山城 一宮東小学校3年 中町 倅太郎 なかまち けいじろう
体験	自転車を使って高知県東部の地図を調べる 秦小学校3年 山口 朝陽 やまぐち あさひ
総合	保存食のスヌメ 介良小学校5年 遠賀 櫻子 おが さくらこ
地理・文化	郷土(ふるさと)の祭り 朝峯神社語りつこう ぼくらの祭りを 介良小学校6年 山中 晴大 やまなか はると

◆平成二六年度新収集資料より

『発陽雑誌』第一号

一八八二(明治十五年)年九月二五日

『高知自由新誌』第一号(第五号)

一八八二(明治十五年)年

一〇月十七日(十二月十三日)

『愛国譚』第一編

一八八三(明治十六年)一月四日

これらは、潮江にあった有力な民権結社である発陽社が発行した雑誌である。発行元はいずれも「高知自由新誌社」。

発陽社は機関紙発行に力を入れ、一八八二(明治十五年)年六月一〇日から冊子型の『江南新誌』を発行、これは八月二六日の第七号から新聞型に改め、発行停止となった『土陽新聞』の身代り紙となった。

この頃『発陽雑誌』が創刊された。付録に「高知自由新誌発兌ノ筈ノ処未タ其筋ノ允可ヲ得ザルヲ以テ発陽雑誌ヲ発兌ス看官請フ之ヲ諒セヨ」とあり、本来は「高知自由新誌」発行が計画されていたことが分かる。

『高知自由新誌』は、十二月十七日付の『弥生新聞』に「自今発行禁止ヲ命セラレ候」とあるので、全五号で終刊となった。



『発陽雑誌』『高知自由新誌』には「本誌ハ東洋ノ救世主ヲ以テ自任スル者也」とあり、その意気込みを伝えている。

『愛国譚』は発行禁止となった『高知自由新誌』の後継誌であると思われる。

これらの資料からも、土佐の民権家が発行停止・発行禁止などの措置に対して、言論の場の確保にかかっていることが分かる。

民権家入物録



黒岩成存 (1899~不明)

中に北奉公人町組合戸長黒岩成存や初代高知市長となった朝倉町組合戸長一円正興も名を連ねている。しかし、知事は職分上不穏当であるとしてこれを却下した。

これに憤慨した黒岩ら十一人の戸長は十二月六日辞表を提出、九日解職された。民権派有志は辞職戸長のため盛大な表彰会を開催、黒岩の辞職表彰会は十二月十四日得月楼で開催され植木枝盛も演説した。そして、黒岩は上町総代として上京することとなり、二二日上京した。この運動の盛り上がりに対し、政府は保安条例を発し、多くの民権家に東京からの退去を命じた。この退去命令を拒否して投獄されたのは全員土佐の民権家で、黒岩もその一人であった。

彼らは一八八九(明治二二年)年二月十一日大日本帝国憲法発布にともなう大赦で出獄し、二五日浦戸湾に帰県し、盛大な歓迎を受けたのである。

同年、四月一日高知市が発足し、四月二九日の高知市会で黒岩は助役に選ばれ一八九一(明治二四年)年二月まで勤めた。

一八九〇(明治二三年)年十一月二五日第一回帝国議会開会を祝賀して、高知市鏡川原で開催された自由大懇親会の発起人にも名を連ねている。

その後、黒岩は上京し一八九九(明治三二年)年六月二一日当地で没した。墓は東京青山霊園にある。

高知市初代助役。医家の倉地家から武家の黒岩家の養子となった。妻は泰。黒岩は立志社一等発起人であるが、明治一〇年代は、郡書記、戸長など官吏勤めをしていた。一八八二(明治十五年)年一月二八日に香美郡赤岡村で開催された衛生懇親会で郡書記として演説している。

一八八四(明治十七年)年四月六日の上町第四懇親会の発起人に名を連ね、同年四月二七日に高知共立学校の委員に就任。さらに戸長に就任するなど、このころから地域の有力者となっていた。一八八七(明治二〇年)年三月十九日、上町有志が、戸長黒岩ははじめ役所員を招待して、前年コレラ流行の際消毒予防に尽力した慰労会を得月楼に開催したという記事もある。

一八八七(明治二〇年)年の三大事件建白運動に際しては、城下の戸長たちも、十一月十九日建白書の政府への提出を知事に求めた。連署した戸長十五名の

館蔵資料出品のご案内



徳利「自由勝利」
(8月まで)

松山市にある坂の上の雲ミュージアムで展示中。

第9回企画展 テーマ展示 近代国家制度の形成
子規・真之の青春

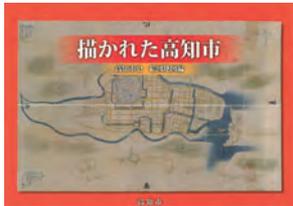
2015年2月24日(火)~2016年2月14日(日)

徳利「自由の誉」(9月から)

好評につき、増刷しました

『描かれた高知市
高知市史 絵地図図編』

品切れとなっていました、第二刷が発行されました。高知市の歴史を視覚的に楽しく学ぶことができます。



3,500円(税別)

新刊情報

『自由民権記念館紀要No.22』

○論文

「日本における民主主義の原郷
-高知県の自由民権運動-」…………… 田村貞雄
「次郎長の済衆医院と土佐の医師、
渡辺良三と植木重敏」…………… 植木 豊
「宮崎夢柳『自由の凱歌』の行方」…………… 永橋禎子

○研究ノート

「草莽の民権家・曾田愛三郎(研究ノート3)」
…………… 松岡僊一



500円(税込)



500円(税込)

企画展図録『自由民権と憲法』

展示資料と解説をほぼ掲載、さらに「東洋大日本国々憲案」(植木枝盛起草)と「日本憲法見込案」(立志社案)を全文掲載。

行事予定

3月21日(土) 15:00~17:00

■ 高知近代史研究会第79回研究会

テーマ 「『自由党史』の謎」
板垣退助監修『自由党史』は自由民権運動をどのように描いたのか
報告者:中元崇智氏(中京大学准教授)
会場:1階研修室

5月31日(日)まで

■ 記念展示「自由民権と憲法
-『東洋大日本国々憲案』から
『日本国憲法』へ-

会場:2階特別展示室
(常設展観覧チケットが必要となります)

4月4日(土) 10:00~12:00

■ 開館25周年記念式典

●式典
●講演 講師:松岡僊一館長
「憲政の祖国・土佐
-自由民権運動から学ぶ-」
会場:1階民権ホール

4月4日(土)~5月6日(水) 無料

■ 記念展示「自由民権記念館25年の
歩みと蔵出し資料展」

会場:1階自由ギャラリー

4月29日(水) 15:10~ 参加自由

● 友の会総会・記念講演会

演題 「戦後歴史学の三段階と
自由民権運動」
講師:田所金久氏(元高校教員・こうち9条
の会代表、土佐市郷土史研究会会長)
会場:1階研修室
※友の会総会 13:30~

5月9日(土)~6月28日(日) 無料

■ 記念展示「ハワイに高知城を
たてた男-奥村多喜衛展」

会場:1階自由ギャラリー
主催:実行委員会/自由民権記念館

5月9日(土) 9:30~
オープニングセレモニー

ゲスト:村田晃嗣氏(同志社大学学長)
ほか

5月23日(土) 14:00~17:00 参加自由

■ 記念講演会/
高知近代史研究会第80回研究会

第1部 講演
演題 「楽園ハワイの天守閣
-建築としてみるマキキ聖城基督教会」
講師:井上章一氏
(国際日本文化研究センター教授)
第2部 対談
井上章一氏×黒田 朔氏(清和女子中・高等
学校校長・元マキキ聖城基督教会牧師)
会場:1階民権ホール

7月18日(土) 15:00~17:00 参加自由

■ 高知近代史研究会第81回研究会

テーマ 「自由民権記念館建設の思い出」
報告者:公文 豪氏(高知近代史研究会会長)
会場:1階研修室

7月23日(木) 10:00~12:00(予定)

■ 夏休み子ども歴史教室

会場:全館

8月22日(土)~10月4日(日) 無料

■ 記念展示「路面電車が走る街・高知
写真パネル展」

会場:1階自由ギャラリー
主催:(株)土佐電ビルサービス/自由民権記念館

友の会より
お知らせ



新商品のご案内「民権マグカップ」

「自由は土佐の山間より」を背景に、板垣退助の立像をはじめ、土佐自由民権家の写真が入った「民権マグカップ」を販売しています。大きめのカップのため飲み物はもちろん、えんぴつ立てなどにも活用できます。価格は1個600円(税込)



マスコットキャラクター
「じゅっぴー」

誕生は2012(平成24)年。
「自由民権」の旗を掲げて、
自由懇親会に向かう人び
とを表現しています。



自由のともしび
JIYU NO TOMOSHIBI

自由民権記念館だより vol.78
発行 2015(平成27)年3月15日 発行人 松岡僊一
発行所 〒780-8010 高知市棧橋通4丁目14-3 TEL.088-831-3336 FAX.088-831-3306
自由のともしび(Vol.60から)がホームページでご覧いただけます。